

各区PTA連絡会研修会開かれる

中央区

平成31年
1月26日(土)

『子どものやる気を引き出す
魔法の質問』

『イライラが減り、気持ちに楽になる』

ブライトライフ代表

マナーコンサルタント

古川 智子氏

1月中旬の厳しい寒さの中、「魔法の質問」という今までにない研修テーマに定員を大幅に超える150名の保護者にお集まりいただきました。

講師の古川氏は元ANA客室乗務員の経歴を持ち、現在はマナー・コミュニケーション・メンタル向上のスペシャリストとして企業の人材育成研修や女性塾などで活躍されています。



今回の研修会はワークシヨップスタイルで行われ、古川氏から出された9つの「質問」に参加者は時には真剣に考え、時には笑いを交えながら答えていました。特に「言われて嬉しい言葉はなんですか?」という「質問」に対して会場は古川氏の声も聞こえないほどの大盛り上がり。

最後に古川氏は「質問すると脳は答えをだす」「質問を活用して自分をマネージメントできる」など「質問」の大事さを話されました。



うちに本年度の中央区PTA連絡会研修会は終了しました。

(黒髪小学校 宮村 巨)
(本荘小学校 上田 茉莉花)

東区

平成31年2月2日(土)

『こんな時代だからこそ!』

『気づかせる人間教育』教育プロレス』

プロレスリング求道軍代表

幸村 ケンシロウ氏

東区のPTA会員と児童生徒が対象の研修会でした。「こんな時代だからこそ!気づかせる人間教育」というテーマで「プロレスリング求道軍(ぐんどうぐん)」の幸村ケンシロウ代表を講師に迎えて、教育プロレスが行われました。画図小学校の体育館に本物のリングを設置して実演形式の研修会がスタートしました。まずはプロレスラーではなく、一般を代表して大人4人でリング上でのウォーミングアップ体験です。受け身、ロープワーク等を体験されました。実際のリングの床は結構硬いらしく、受け身の時はものすごい音がしました。ロープワークもちゃんとしないとケガをするくらい硬かつ



たらしいです。この4人のお陰で、会場の緊張感もほぐれ、いよいよ本番です。

西区

平成31年2月2日(土)

『笑顔がいちばん』まごわやさしいこで

つくる未来のカラダ』

長船 なお美氏

今年度の研修会は会員167名が参加し、西部公民館大ホールにて、タレントの長船なお美さんをお招きし開催されました。

開口一番、透き通った聞き取りやすい声で「田野さんの司会の固かけん、シーンってなってるよ。こぎゃん静かな講演会ははじめてよ」同じ学校の保護者同士でもあるためのやり取り、場が和みます。

演題の『笑顔がいちばん』まごわやさしいこでつくる未来のカラダ』まずは笑顔



ではじまりました。同世代のお子様をお持ちの長船さんをサッカード

南区

平成31年2月9日(土)

『獅子舞を通して
地域や学校との交流を学ぶ』

日吉小学校長 松嶋 敏二先生

力合中学校長 新垣 力先生

日吉中学校にて開催された研修会は、同中学音楽部による美しい合唱から始まり、全国大会で銅賞を受賞したとのことで、子どもたちの澄み切った歌声に参加者は皆引き込まれていました。2月生まれの参加者にバースデーソングを歌ってくれたり、ダンスをしながらの合唱など、思わず手拍子が出るほどの楽しいステージでした。



『新町獅子保存会』による演舞では、赤獅子・黄獅子のキレのある舞を披露してくださいました。「獅子舞に噛まれる」と利益がある」といふ言い伝えから、参加者の頭を噛んで回ってくれて、なかなか観ることのできない獅子舞に盛り上がり、その獅子の中で踊っていた「舞手(まいて)」であるお二人が、日吉小学校長の松嶋先生と力合中学校長の新垣先生でした。

演舞の後、お二人が同会に入会したきっかけや、獅子舞の歴史、同会の活動についてなど、沢山の写真とともに紹介していただきました。練習用の獅子頭を触ってみると思ったよりも重く、キレがある中にも柔らかさが感じられる舞を披露する舞手の凄さを感じることができました。

400年以上続く獅子舞を通して、地域や学校との交流、子どもたちの喜ぶ姿、楽しむ姿を大切に引き継いでいきたいという思いと共に、PTA活動も、仲間と力を合わせて楽しく活動してほしいと話されました。



どんな活動をするにも、協力しあうことはとても大切です。子どもたちの幸せな未来のために、そしてより住みやすい町になるように、まずは自らが、人との関わりを大切に、楽しく活動できるように心掛けていこう、と改めて感じることができた研修会でした。

(白坪小学校 西浦 美香)
(三和中学校 下村 保)

北区

平成31年2月9日(土)

『子どもが輝く魔法の言葉』

オフィスファイン代表 中村 早岐子氏

あいにくの小雨の天候にも関わらず、会場の植木文化センター多目的ホールは満席となる大盛況でした。

講師の中村氏は「ほめ達認定講師」として全国100社を超える企業、150校以上の学校等でご講演されています。

『子どもが輝く魔法の言葉』という演題で「ほめる」とは自分のまわりの「人・モノ・起きる出来事」の価値を発見して伝えること、という内容でした。

「ほめ達!」式コミュニケーション術として、「ダメ出しは本能!ほめるのは覚悟」というような、日頃わかっていながらもやってしまいがちな例などに触れ、「ほめ



(高平台小学校 甲斐文祥)
(山本小学校 寺本 剛)

(財) 熊本県PTA教育振興財団からのお知らせ

新しい年度には改元を迎え、皆様新たな気持ちで様々な活動に取り組んでいらっしゃるものと存じます。本財団でもますます皆様の活動支援に努めてまいります。春休みと新年度の共済についてお知らせいたします。

春休み中の活動の注意、3月31日までに終わりましょう。

平成30年度の共済期間は3月31日までです。本年度の学年、学級、部活動などの活動(特に卒業する児童生徒を含む場合)は4月に実施されると共済が適用されないことがありますのでご注意ください。4月に入学予定の未就学児が小学校の行事等に参加する場合や、小中学校の卒業生が入学予定の中学校や高校の部活動等に参加する場合も、本共済は適用されません。一方、3月31日までは卒業式後であってもPTA活動や部活動(PTA会長承認行事)への参加により発生した災害は共済の適用となります。

うきうきの春、交通事故に注意しましょう。

共済の審査会では毎月20件前後の交通事故を扱っています。特に自転車での登下校時の事故が減りません。自転車での移動時には、登下校時に限らず、交通ルールを守り、人や車の動きに最大の注意を払いましょう。また、自分を守るためにもヘルメットを装着し、自転車の安全点検も実施しましょう。

新年度は特別団体の新規加入はできません。

熊本市以外では小学校部活動が社会体育に移行します。本共済ではこれまで熊本県下のボランティアによるスポーツ活動団体を「特別団体」として、Pコースへの加入を認めてきました。今後、特別団体となる団体が激増することから、過去の特別団体の共済給付を検討した結果、今後の対応は困難であると判断するに至りました。平成31年度は新規加入の停止、その次の年度からは特別団体の取り扱いを行わないことになりました。社会体育等への参加の際には、スポーツ安全保険等へのご加入をご検討ください。

熊本県PTA共済に関するご質問やご連絡は・・・

共済の対象となる活動の範囲、事故発生時の手続き、様々な手続きに必要な書類などお気軽にお問い合わせください。 事務局 TEL: 096-278-8811 7リダイヤル: 0800-200-5553